

ギラン・

パレー症候群



ギラン・パレー症候群という聞き慣れない病気があるようですが、症状などを教えてください。



ギラン・パレー
症候群は、ギラン
とパレーという2

人の医師により報告され
た10万人に1人ほどが発
症し、全身に張り巡った末
梢神経が障害されること

で、まひやしびれなどが現
れる疾患です。3分

の2の方は、発症

1カ月以内に先

行感染として発

熱や風邪症状

があります。

症状として出ない

場合もあります。いずれに

せよ何らかの感染に対す

る免疫が自らの末梢神経

を攻撃し、だいたい1カ月

以内にしびれ、手足のまひ

からさらに嚥下（えんげ）

機能や呼吸機能の障害や

重篤な不整脈で1%が亡



くなり、20%に1年
以上後遺症が残ること

もあります。多くは症状の

ピークが過ぎると改

善しますが、早めに

受診が必要です。診

断がつけば血漿（けっ

しょう）交換などの

治療法があります。

高知では昨年、例年

より多くの患者を認めた

ようです。新型コロナやイ

ンフルエンザの感染も関係

しているといわれ、今後増

えるかもしれませんね。

ターゲットは末梢神経、こ

の時期、まっ、しょうがねと

思う前に受診を。



朝倉病院
理事長／院長

田辺 裕久さん